

2008年市長表彰 (ベストプラクティス表彰)の表彰式を実施

去る1月28日、2月2日、今回で6回目の実施となる「2008年市長表彰(ベストプラクティス表彰)」の表彰式が行われました。

市長表彰は、市民の優れた取り組みを表彰するとともに、各職場の実践的な改革・改善の取り組みを表彰したいという、清原市長の発意により市長就任時の2003年から実施しています。



今年度は、24課から合計31事業の推薦がありました。昨年12月の理事者による市長表彰審査会で、優秀賞6件、優良賞4件、努力賞2件が選出されました。また、経営改善努力賞は5件、今回から新設された環境マネジメント努力賞に4件が選出されました。さらに、東台小の建替えの取り組みを特別賞として選出しました。

表彰式は、市長自らが各課を訪問し、受賞した事業に関わったスタッフ全員を対象に行いました。市長は各受賞職場で市長がデザインした記念の楯を授与し、取り組みを行ったスタッフの労をねぎらうとともに、現場の知恵と創意工夫による取り組みの努力に対し激励をされました。



表彰の際は、周りの課の職員も一緒に受賞した課を激励するとともに、受賞課では、部課長だけでなく取り組みの中心を担った若手職員が楯を受け取るなど、三鷹市らしい職場風土が見受けられました。



選考方法



市長表彰は、毎年1月から12月までの間に実践された、課題の克服や問題解決等に向けた、優れた取り組みについて、概要、成果及びアピールする点をまとめた各課からの推薦調書をもとに、理事者による市長表彰審査会で「優秀賞」「優良賞」「努力賞」を選出します。

また、「創造的予算システム」における、創意工夫に基づく積極的な取り組みにより、予算の執行残を生んだ取り組みや、予算編成時の工夫により予算節減に努めた取り組みは、「経営改善努力賞」として選出します。

さらに、今回の表彰から「環境マネジメント努力賞」を新設し、環境マネジメントの運用において、積極的に環境負荷軽減や環境保全に努めた取り組みを選出することとしました。

選考基準は、①懸案課題の解決、②三鷹的な創意工夫、新規事業への挑戦、③コスト削減のしくみづくり、④市民満足度の向上、⑤経常業務の改善、⑥ISO14001による環境の改善、などです。



受賞した取り組み



優秀賞

企画部秘書広報課

民間活力を活用した「市民便利帳」及び「東京人」増刊号の発行

「市民便利帳」の発行は、制作会社と協定を締結し、作成から配布に至るまでの全ての経費を広告収入でまかなう手法を取り入れ、経費節減に努めた。また、月刊「東京人」増刊号の発行は、市民ボランティア、「東京人」を発行する出版社の編集部、市とで協働編集し、三鷹時代の太宰治にスポットをあてた大変読み応えのある内容として太宰治の魅力を全国に発信した。

市長講評

「市民便利帳は、作成経費を広告収入でまかない発行するという都内では初の試みであり、三鷹らしい先駆的な取り組みでした。また、月刊『東京人』増刊号は、出版社、市民と協働編集により発行し、他の増刊号と比較しても今までにない販売部数となり、太宰治の魅力を発信しました。」



優秀賞

市民部保険課

国民健康保険税の収納率の向上

国民健康保険税の収納率は、納税者との早期接触による粘り強い納税交渉や徹底した財産調査による滞納整理などの、職員の日々の努力により、平成19年度と比較して現年度課税分1.3%、滞納繰越分6.1%と向上した。

市長講評

「保険課は、市民の皆様にも国保制度への理解と協力を推進するとともに、国保財政の健全化を図るため、日々努力を重ねました。特に納税者との納税交渉や財産調査などは、思いのほか苦勞を伴うものです。今後も納付機会の拡大による利便性の向上と保険課の職員の活躍による収納率向上の取り組みをお願いします。」





生活環境部コミュニティ文化室・
三鷹市芸術文化振興財団・みたか
都市観光協会・三鷹ネットワー
ク大学

太宰治顕彰事業の推進

平成 20 年は太宰治没後 60 年、平成 21 年は生誕 100 年を迎え、その業績を顕彰する事業を実施し、「太宰治が生きたまち三鷹」を全国へ発信している。

3 月には顕彰事業の拠点施設となる「太宰治文学サロン」を開設、文学講座「百夜百冊」の実施、没後 60 年記念展の開催、ガイドボランティア等によるゆかりの地への案内など、市内外から多くの来場者を迎えている。

市長講評

「太宰作品は時間が過ぎても朽ちない文学であり、今なお愛され続けるからこそ、太宰治顕彰事業は、市内外から注目されるのであり、多くの方が訪れるのだと思います。こうした地域資源に磨きをかけ、三鷹の魅力为全国に発信してください。」



生活環境部生活経済課

「三鷹むらさき商品券」の取り組み

平成 20 年 11 月 25 日に三鷹市商店会連合会及び三鷹市商工会の協力のもと、10%のプレミアム付市内共通商品券 1 万冊を発売した。市内 600 店舗の賛同を得て街ぐるみで発売された商品券は、翌日には完売と好評を博した。

市長講評

「むらさき商品券は、発売後瞬く間に完売し、完売後も購入を希望される方の声が多く寄せられました。

この商品券は景気悪化の影響もあり、不況対策の一端を担うこととなりましたが、まだまだ先の見えない不況が予想されます。引き続き、緊急不況対策の取り組みなど商業振興等の活性化の取り組みをお願いします。」



生活環境部環境対策課

三鷹市簡易版環境マネジメントシステムの構築と運用

外部の公設公営 29 の施設を対象に市庁舎等で取り組んでいる環境マネジメントシステムを参考に、簡易版環境マネジメントシステムを構築した。管理手法などをコンパクトにわかりやすくまとめ、外部施設において負担が少なく簡単に取組みめるよう構築し、平成 20 年 10 月から本格運用を開始した。

市長講評

「市庁舎・環境センターで取得した ISO の認証の取り組みを、外部施設でも導入すべきとしたことに対し、コンパクトでわかりやすい簡易版のシステムを構築し、円滑に運用を開始した努力を表彰します。」

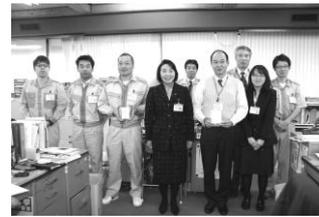




都市整備部
まちづくり推進課

「東京外かく環状道路中央ジャンクション三鷹地区検討会」の取り組み

外環の地区検討会を三鷹市、国土交通省、東京都と三者共同で、市が平成18年度から新たな市民参加の手法として取り組んできた「まちづくりディスカッション」方式で開催した。関係団体等からの推薦30人と無作為抽出で参加を承諾した市民94人が、東京外かく環状道路ができることでの課題、課題克服に向けた斬新なアイデアなど、活発な討議を行った。



市長講評

「外環についての地区検討会を、かねてから市が要望していた『まちづくりディスカッション』方式で国・都と共催しました。無作為抽出で選ばれた市民の皆様の活発な討議により出された課題解決策や夢のある提案は、報告書としてまとめられ国土交通省に提出されました。現在示されている国の対応方針（素案）では、市民の皆様の意向が反映される内容となっていますが、引き続き、より具体的な対策に反映されるよう取り組みをしていきましょう。」



三鷹ネットワーク大学

自主財源の獲得による民学産公の協働と効率的運営の推進

NPO 法人としての自主財源の確保を図るため、国（内閣府・経済産業省）、東京都の様々なモデル事業の募集に対し、事業提案を幅広く実施した。採択を受けた東京都の補助事業である「民学産公」協働研究事業をはじめ4つの事業を実施し、人財育成や研究開発をまさに「民学産公」の協働により推進している。



市長講評

「自主財源を獲得した委託・補助事業は、各機関の知的資源を活用した新しい形の「民学産公」のつながりを生み出すとともに、多様な補助事業を申請し、自主財源を獲得した法人の経営努力を評価します。」



総務部防災課
都市整備部下水道課

都市型水害対策への対応

近年の局地的な集中豪雨に対応するため、防災課では、防災マップの改定と合わせて新たに浸水ハザードマップを作成した。マップには浸水区域とその深さ及び浸水への対応などを示し、市民が浸水対策に役立てるマップとして全戸配布を行った。



下水道課では、下水道管の処理量を超える雨水と希釈された汚水を一時的に貯留管に導くため、雨水浸透貯留管設置工事を実施し浸水被害の軽減を図った。

市長講評

「防災課では、市民の皆様が水害対策に役立てることができる浸水ハザードマップをわかりやすくまとめました。引き続き、天災・火災対策はもちろんのこと、水害対策の取り組みをお願いします。」



下水道課では、シュミレーション解析を行い、下水道の安全性を図るため、雨水貯留管設置工事に取り組みました。日々の努力により浸水被害の軽減が図られたことを評価します。」



健康福祉部健康推進課

「2008 三鷹市健康づくりウォーキング大会」の実施

市役所、各コミュニティセンターから都立野川公園までウォーキングし、第1回目の平成19年度に比べ、236人多い639人の参加を得た。この事業を通じてウォーキングの楽しさや健康づくりにとって運動が大切であること広く周知することとなった。

市長講評

「2回目となったウォーキング大会は、1回目に比べ参加人数が約1.5倍となりました。ウォーキングを通して、今まで知らなかった三鷹の再発見や沢山の方との交流が図られるとともに、ゴールの野川公園では医師会・歯科医師会・薬剤師会の皆様による健康相談ブースや三鷹産野菜の入った豚汁の提供がなされるなど、参加者の満足度の高い取り組みとなりました。」



三鷹市社会福祉事業団

公設民営保育園の経営の安定化とサービスの向上

平成19年4月から公設民営保育園3園の運営を受託し、利用者本位のサービスを提供するため、保育園職員及び市からの派遣職員に対する研修や日々のサービスの実践、保育園連絡会、各部会を定期開催し、経営課題に迅速に対応できる体制を整え、円滑で効率的な保育園運営に取り組んでいる。

市長講評

「職員一人一人の責任感や保育園運営の研ぎ澄まされた経営感覚を發揮し、安定した保育園運営、保育の質の確保と職員の資質の向上の取り組みを進めています。今後も、効率的な事業団経営をお願いします。」



生活環境部ごみ対策課

粗大ごみの受付と収集体制の拡充

粗大ごみの収集の電話による受付について、従来は月曜日から金曜日までの受付を土曜日にも実施し、8時30分から17時までの受付時間を8時から19時までと延長した。また、インターネット及びFAXによる受付を開始するとともに、隔日収集から毎日の収集に変更することで、申込日から収集日までの短縮化が図られ、市民サービスの向上につながった。

市長講評

「粗大ごみ受付センターでの粗大ごみの収集受付方法の変更により、市民の皆様からの不満、苦情が減少しています。特に、受付日・受付時間の延長、インターネット等による受付を開始したことにより、市民サービスの向上が図られました。」



教育委員会生涯学習課

天文台構内古墳の発掘調査見学会の実施

全国で4例目の発掘である国立天文台構内の「上円下方墳」について、平成20年9月に見学会を実施した。見学会は古墳の全容を見学できるよう周囲を巡るコースとし、専門調査員による解説と遠隔操作カメラによる土器の実見など工夫を凝らした内容で、2日間で1,810名の見学者があった。

市長講評

「見学者への丁寧な説明、見やすい動線を図るなど工夫を凝らした見学会の作り方が見事でした。見学者にとっては、現代から律令時代の世界に飛び越え、当時の様子を垣間見るなど貴重な体験の場となりました。」





企画部情報推進室	PCの一括調達
<p>庁内で利用するパソコン等を一括購入することで、機器調達経費と保守管理、故障時のトラブル対応など管理コストの削減を図った。</p> <p>市長講評 「パソコンの一括調達により、保守管理等のコストの軽減を図るとともに、サーバー等情報基盤システムの更新により、システムの安定性、操作性が向上しました。また、一括調達することで一元的なセキュリティの確保が図られました。」</p> 	

生活環境部安全安心課	東京都地域防犯モデル事業補助金の確保
<p>東京都地域防犯モデル事業の指定を受けることで、モデル地域内の道路や公園等の街路灯の整備や植栽の剪定等の経常経費に充当できる補助金の確保が図られた。</p> <p>市長講評 「モデル事業の指定を受け、共同住宅居住者に防犯パトロール用品の提供や防犯設備及び部品の購入の補助など、防犯活動の活性化と地域防犯環境の整備が図られました。 補助金を活用することで、これまで以上に共同住宅との連携が図られ、協働により地域の防犯力を高める取り組みの推進を評価します。」</p> 	

都市整備部まちづくり推進課	開発指導における業務の効率化と改善
<p>エクセルなどを活用し、事業者との協議に伴う書類作成をはじめ様々な書類を一括して作成できる独自のシステムを構築した。協議以外の事務の効率化を図ることで、超過勤務時間の減少による超勤手当の削減につながった。</p> <p>市長講評 「開発指導は、事業者等と長時間の協議を要し、恒常的に職員の負担感が増していました。 事業者等との協議以外の業務の効率化を図ることで、丁寧な窓口対応の持続を可能とし、超過勤務時間の減少による職員の負担軽減に結びついた業務改善を評価します。」</p> 	

都市整備部道路交通課	放置自転車等対策関係費の見直し
<p>放置自転車対策として、放置防止の指導・警告、保管返還業務、廃棄処分業務などの費用を要しているが、平成19年12月に条例を改正し、自転車を売却できることとした。 このことにより、廃棄処分料としての支出から、売却による収入へと転換が図られた。</p> <p>市長講評 「放置自転車の廃棄処分料の支出から売却による収入へと転換を図りました。厳しい財政状況下において、無駄な支出の削減が求められる中、発想の転換による事務の見直しを具現化し、経営改善に努めたことを評価します。」</p> 	

会計課	公共料金明細サービスの導入による一括伝票処理
<p>光熱水費等の公共料金の支払いについて、公共料金明細サービスを導入し、一括伝票処理による事務の合理化を図るとともに、支払方法を納付書から自動口座引き落としに切り替えることで受けられる割引制度を活用し財源効果を図った。</p> <p>市長講評 「公共料金明細サービスの導入は、会計課における内容審査等の負担軽減が図られるだけでなく、全庁的な伝票処理事務の効率化につながりました。また、自動口座引き落としに伴う割引制度を活用することで、一定の財源効果を図ったことを評価します。」</p>	
	

環境マネジメントシステムの運用における環境負荷の軽減及び環境保全の取り組み



総務部契約管理課	特定作業の的確な管理及び省エネルギー活動の実績
<p>契約管理課のみが携わる A 重油及び PCB 廃棄物保管などの特定作業について、的確に維持管理を実行した。また、紙の削減、軽油の軽減に顕著な実績を達成した。</p> <p>市長講評 「契約管理課に特有の特定作業について、的確に維持管理されていることが ISO の内部監査で評価されています。また、紙及び軽油の削減に顕著な実績を達成するなど、環境マネジメントの取り組みの成果を評価します。」</p>	
	

市民部資産税課	ISO 研修の積極的実施及び省資源活動の定着
<p>職員に対する研修を臨時職員採用時など必要に応じて積極的に実施するとともに、古紙をサイズごとに棚別に整頓し、裏紙使用を効率的・積極的に実施した。</p> <p>市長講評 「裏紙の積極的な使用による省資源活動、個人情報を含む再生紙は即時シュレッダー処理するなど、裏紙の使用を積極的かつ効率的に実施しています。 必要に応じた研修の実施により、職員の環境配慮への動機付けが ISMS の取り組みと相まって、徹底されています。」</p>	
	

健康福祉部高齢者支援室	紙リサイクルしやすい市民向けリーフレットの開発
<p>従来の被保険者証用リーフレットを更新するにあたり、ホチキス留めを行わない道路マップ形式とすることで、紙リサイクルしやすいリーフレットを作成した。</p> <p>市長講評 「法改正に伴い、内容変更の必要が生じるリーフレットについては、廃棄を余儀なくされるため、通常の冊子形式の見直しを図り、道路マップ形式としたことは、環境負荷の軽減につながる環境マネジメントの優れた取り組みでした。」</p>	
	

照明点灯範囲の細分化、コピーの値段の表示及び車両使用の自粛など、電気、紙、ガソリンの削減に工夫を凝らし取り組むとともに、節水活動を率先して行い、全庁的な環境活動に資するため、節水のPR活動に取り組んだ。

市長講評

「出張時の公共交通機関の利用促進や電気使用量及び紙の削減に努めるとともに、節水活動による水の使用量の削減にも努めました。執務室が暫定管理地内へと移動となった影響により各種使用量が増加しがちですが、引き続き、できる限り省エネルギー・省資源活動の取り組みをお願いします。」



特別賞

教育委員会総務課
都市整備部公共施設課
健康福祉部子育て支援室

東台小建替えに向けた取り組み

耐震診断の結果等を踏まえ、新校舎建設という決断となった東台小は、緊急的な取り組みにもかかわらず、児童によるワークショップ、東台小学校校舎検討委員会での新校舎プランづくりの検討が実施された。また、工事期間中の園児への影響を避けるため、東台保育園も仮設校舎敷地内の仮設園舎へ移転した。現在、「夢がひろがりつながっていく学校」の平成23年度完成に向けた取り組みを進めている。

市長講評

「東台小は、耐震診断の結果等を踏まえ、児童の安全確保と学校生活への影響を最小限にするため、新校舎建設を決断しました。」

そうした中、新学校プランづくり、旧校舎解体工事の着手、小学校の仮設校舎及び東台保育園の仮設園舎への移転について、担当部署間の連携による着実な取り組みを進めています。これまでの取り組みを評価するとともに、引き続き、新校舎完成に向けたきめ細かい取り組みをお願いします。」



楯の掲示

市長表彰の楯は、窓口カウンターに置くなど市民の皆様をはじめ、来庁された方に見えるよう目立つ場所に置いてください。そして、その意味を尋ねられた際には、自信を持って受賞となった取り組みを説明するようお願いします。

また、今後も、創造的・挑戦的な取り組みによる市民サービスの向上等に努め、毎回受賞できるよう職場が一丸となつての取り組みをお願いします。



企画経営室では、「みたか21世紀の挑戦」に掲載する各課の原稿を募集しています。また、ご意見・ご提案などもお寄せください。
(企画経営室 内線2151)